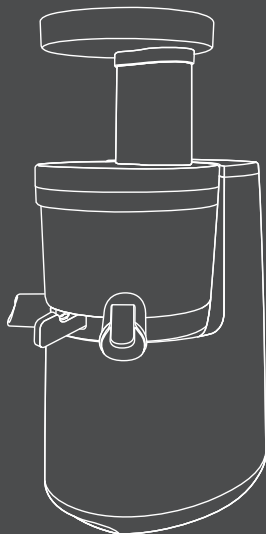


HUROM™

ヒューロム

H2H-SBA11



HUROM 取扱説明書家庭用 (保証書在中)

- 1 安全にお使いいただく (P8-9) ための注意事項を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
- 2 この取扱説明書はいつでもお手に取れる場所に保管をお願いいたします。
- 3 この製品は日本国内用です。海外ではご使用いただけません。
- 4 この製品の仕様は品質向上のため、予告せずに変更することがあります。

02 部品名称

03 組み立て方法

06 分解方法および洗浄

07 使用方法

08 安全にお使いいただくために

10 レバー案内

12 使用上の注意事項

13 使用中にスクリューが止まったら

14 ドラムの分解および洗浄方法

15 回転ブラシの分解および洗浄方法

16 スクイザーの組み立てと洗浄

17 スクイザー使用方法

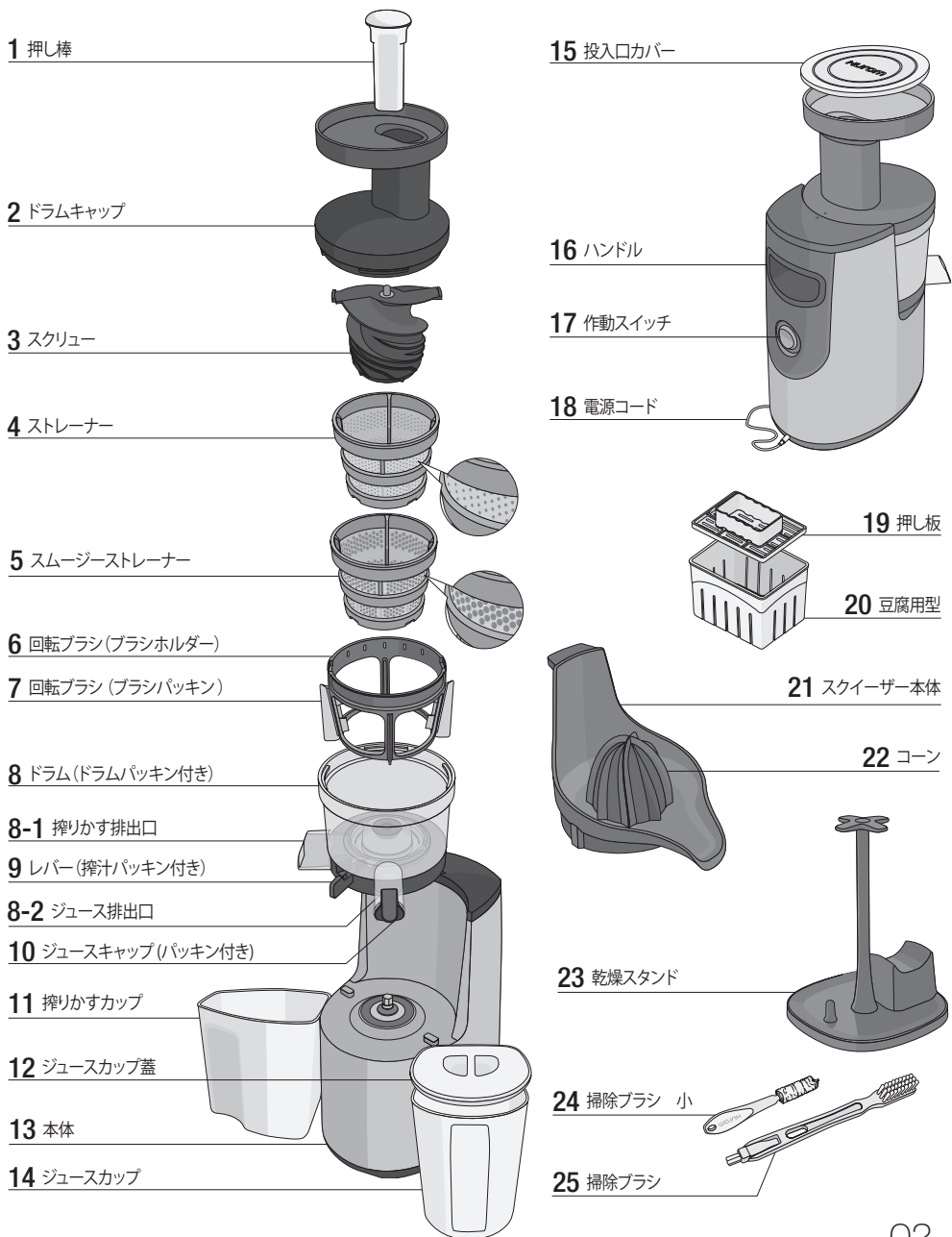
18 故障かなと思ったとき

19 製品仕様

20 品質保証・アフターサービスについて

21 保証書

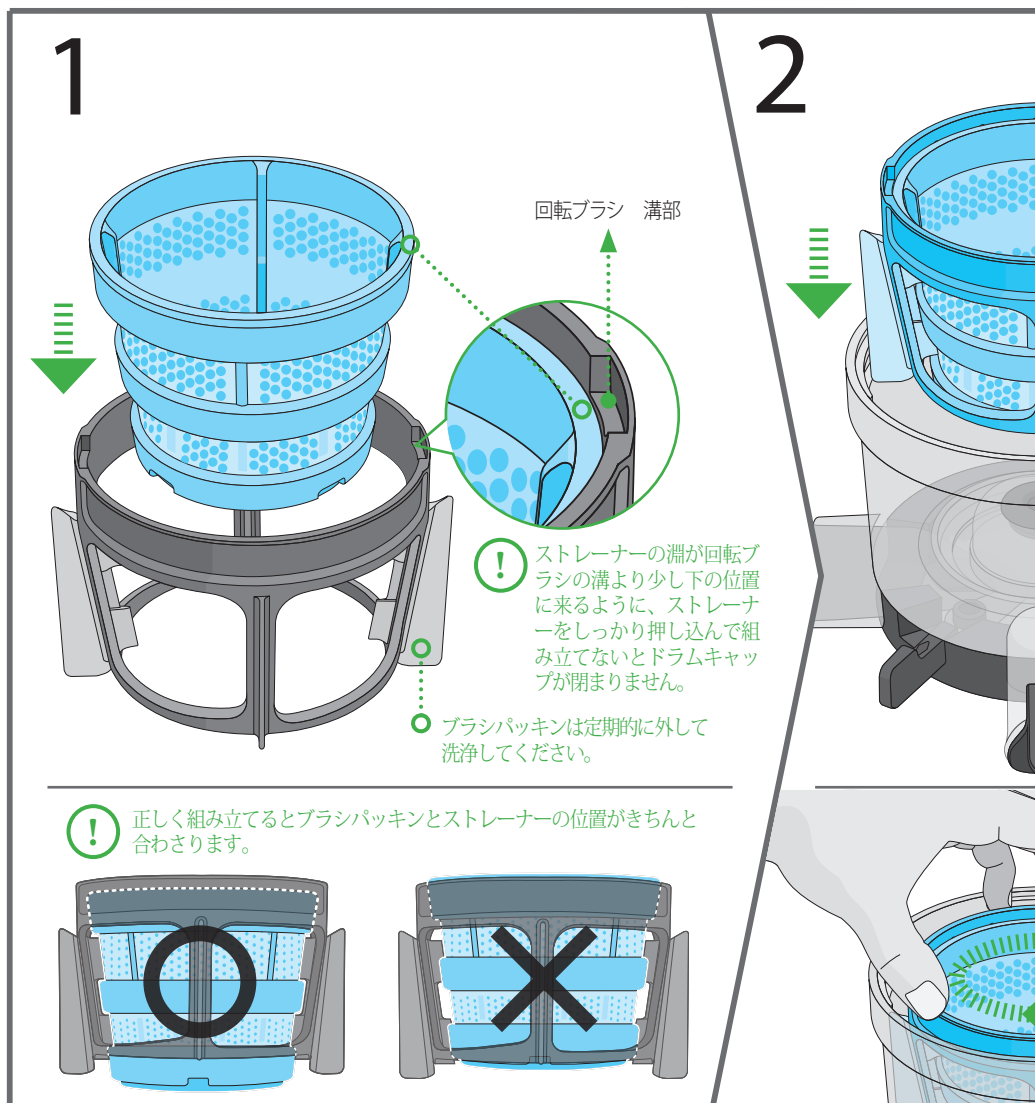
部品名称



ASSEMBLY

組み立て方法

1～4の手順でドラムセットを先に
※取り付けの際はレバーを○CLOSE

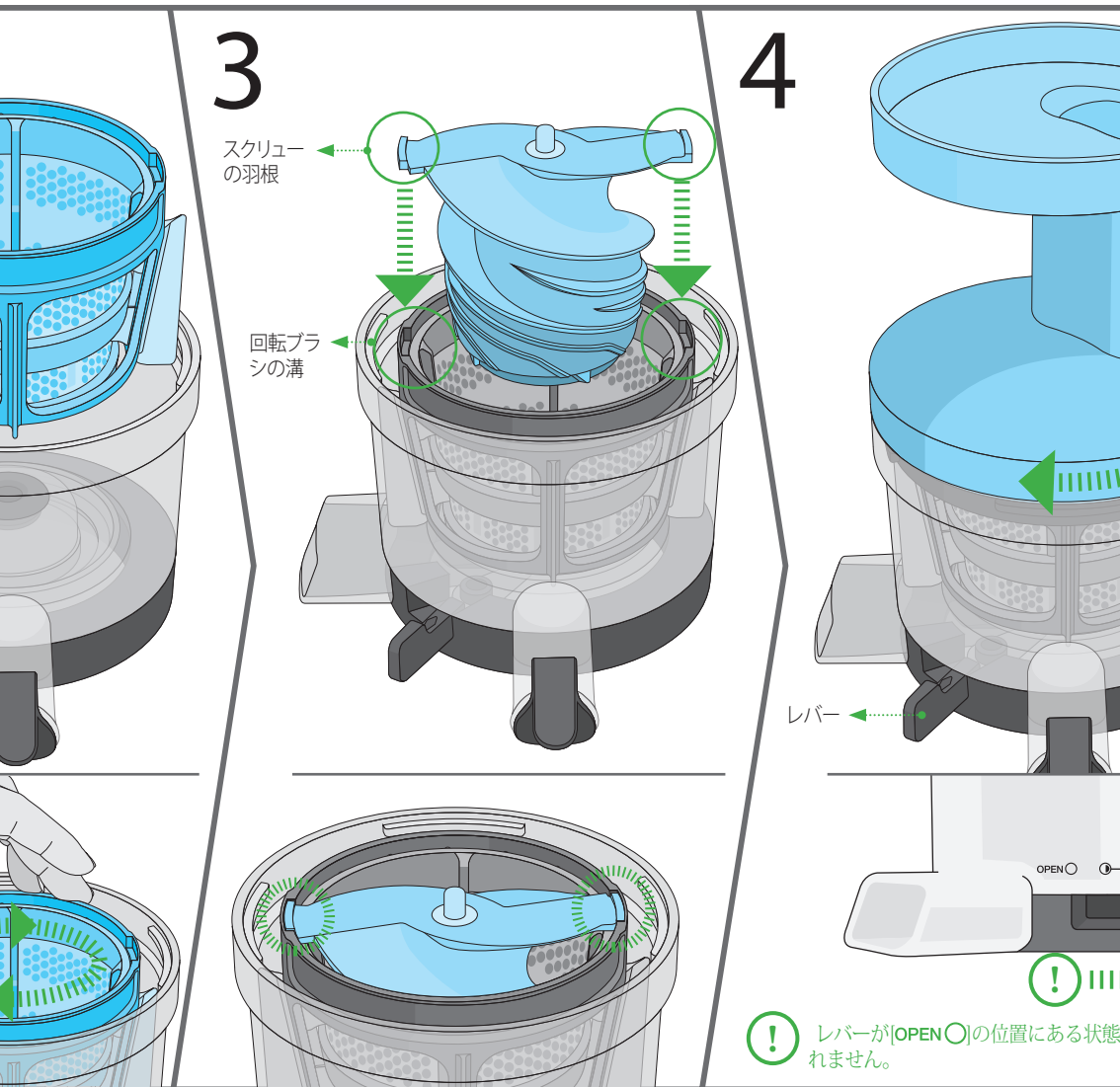


ストレーナーが回転ブラシの溝よりも下の位置にくるようしっかりと押し込み組み立てます。

正しく組み立てていない場合、ドラムキャップが閉まりません。

手順1で組み立てた回転ブラシを左右に回しながら、ドラムに取りカチッとハマると固定されます。

(組み立ててから、最後に本体へ取り付けてください。)
の位置にしてください。



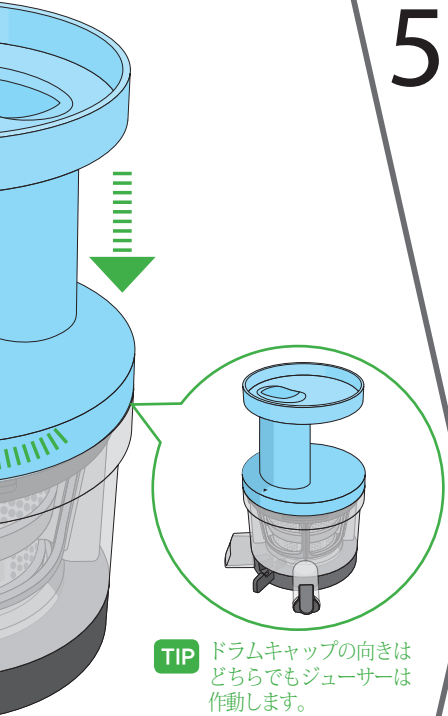
& ストレーナーを
り付けます。

スクリューを図のように組み立てます。
スクリュー両側の羽根部を、接合部に合わせるよう
に回していくと、きちんとはまります。

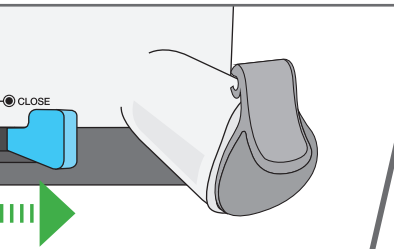
ドラムキャップをドラムに組み立て、時
!

レバーを●CLOSEの位置にしま

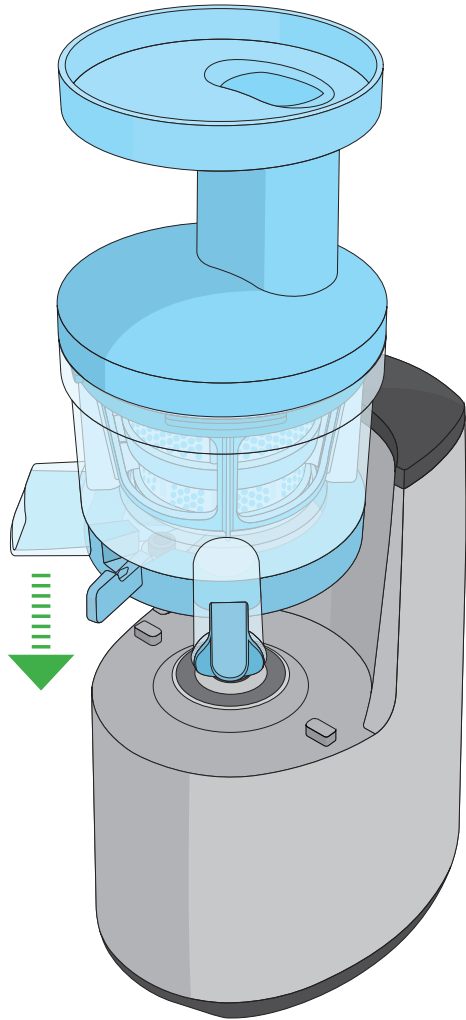
5



TIP ドラムキャップの向きは
どちらでもジューサーは
作動します。



では、ドラムセットが本体に取り付けら



計回りに止まるまで回します。
す。

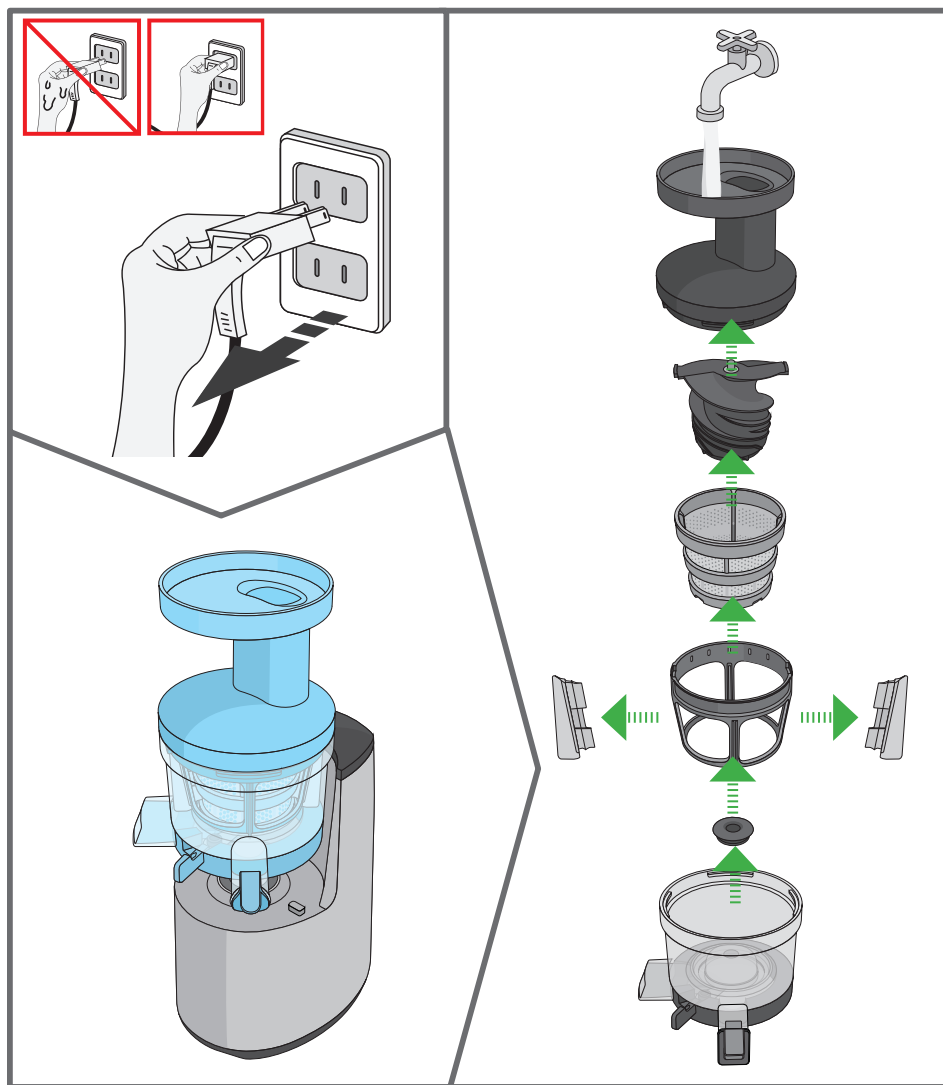
ドラムセットを先に組み立ててから、最後に本体へ取り付けてください。



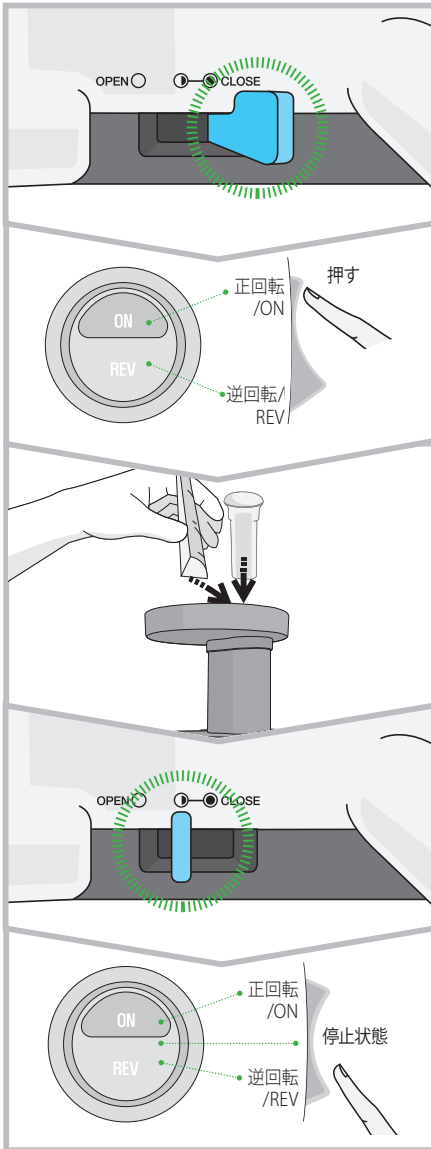
安全装置について

ドラムキャップがきちんと閉まっていなかったり、開いた状態では、安全装置が働き電源は入りませんのでご注意ください。

分解方法および洗浄




ドラムセットを本体から外します。ドラムセットは組み立て時と逆の順番に分解します。
ドラムセットには掃除ブラシを使用し、水を流しながら洗浄してください。本体はしっかりと絞ったタオルや柔らかい布で拭いてください。パッキン類は取り外して洗浄が可能です。



1 作動させる前に、レバーを●CLOSEの位置に合わせてください。


2 作動スイッチの[正回転/ON]を押します。

3 食材は小さく切り、少しずつ投入口へ入れ、必要に応じて付属の「押し棒」を使用します。

 一度に大量の食材を入れると、詰まって動作を停止することがありますのでご注意ください。

4 最後の食材を投入する前にレバーを半開(●)の位置に合わせます。
ドラム内に残った搾りかすを排出させることでドラムキャップが取り外しやすくなります。

5 搾汁が終了したら、電源スイッチを停止状態の位置に戻し停止させます。

 正回転や逆回転ボタンは必ずスクリューが完全に止まった後に操作してください。

安全にお使いいただくために

- ・ご使用前に〈安全にお使いいただくために〉を必ず読んでお守りください。
- ・人体への危害、財産への損害を防ぐためにお守りいただくことを説明しています。
- 誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取り扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。



この記号は禁止行為を表示する記号です。



この記号は行動を規制したり指示する内容を表示した記号です。



警告

警告事項を守らなかった場合、深刻な傷害を負ったり死亡に至る可能性があります。



電源コードが破損した場合、コード交換は危険を防止するために、製造者もしくはその代理店または同等の有資格者により行ってください。 火災、感電、傷害の原因となります。



異常・故障時には、直ちに使用を中止する。 すぐに差込みプラグを抜いて、当社フリーダイヤル（20ページに記載）までお問い合わせください。〈異常・故障例〉部品のひび割れ、破損・電源コード類の異常加熱・焦げ臭い。



交流100V以外の電源で使用しないでください。 感電、火災、性能異常の原因となります。電圧が異なる場合、モーターの寿命が短縮されたり、故障の原因となる可能性があります。



お子様の手の届かない場所でご使用ください。 また、お子様や取り扱いに慣れていない方は、一人で使用しないようご注意ください。お子様が本体を誤ってさわったり、倒したりすると、傷害や故障が発生する恐れがあります。



電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。 感電、火災の原因となります。



電源コードをご使用の際は、以下の点にご注意ください。 無理に曲げたり束ねたりしない、傷を付けない、引っ張らない、高温の近く、またはガスレンジなどの火気の近くに置かない、重いものを載せない、狭い場所に通して挟んだり、加工したりしない。電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。



自分で絶対に分解や修理、改造をしないでください。 本体の隙間や穴に、指やピンなど異物を入れないでください。火災、感電、傷害、故障の原因となります。製品アフターサービスおよび点検については、当社フリーダイヤル（20ページに記載）までお問い合わせください。



本体を濡らしたり、水をかけたりしないでください。 製品のスイッチに、水やその他の異物が入らないようご注意ください。感電、ショートによる発火の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、スイッチを操作したりしないでください。 感電・漏電・火災の原因となります。

安全にお使いいただくために



注意

注意事項を守らなかった場合、重大な傷害を負ったり製品が破損する可能性があります。



製品をご使用の際は、ネクタイ、ネックレス、スカーフなどが投入口に入らないようご注意ください。巻き込みによる傷害や故障の原因となります。



本体のドラムキャップが正しく装着されていない状態で作動しないでください。傷害や故障の原因となります。



ドラムがカラ（食材なし）の状態で作動しないでください。ドラムに食材を投入する際に、穀物類や硬い種が入っている食材（柿・桃など）はそのまま投入しないでください。破損・故障の原因となります。



ジュース排出口に箸やスプーンなどを入れないでください。傷害や故障の原因となります。



作動中スクリューの回転が止まった場合、[逆回転/REV] ボタンを2～3秒間押し逆回転させます。逆回転作動が完全に止まった後に再度[正回転/ON] ボタンを押してください。作動中に停止したままの状態で放置すると、モーターの過熱による部品の損傷、機能低下の原因となります。問題が解決しない場合は製品を停止させ、当社フリーダイヤル（20ページに記載）までお問い合わせください。



本製品は、平らで安定した場所に置いた状態でご使用ください。不安定な場所での使用は、傷害や故障の原因となります。



作動中に本体を移動させたり、ドラムセットや部品の着脱はしないでください。傷害や故障の原因となります。必ず本体を停止させ、電源コードを抜いてから行ってください。



1回の使用につき、30分以上続けて使用しないでください。モーターが過熱し、故障の原因となります。5分程度機器を完全に停止させた後に使用してください。



投入口に材料を入れる際、製品付属の「押し棒」以外のものや手を使用しないでください。傷害や故障の原因となります。



製品に激しい衝撃を与えたり、落としたりしないでください。感電、破損、火災の原因となります。



使用時以外は、電源コードを抜いてください。その際は、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ってプラグを抜くと、傷害や感電、火災の原因となります。



80℃以上の高温では洗浄しないでください。食器洗浄機、乾燥機、電子レンジなどに入れないでください。故障、部品変形の原因となります。



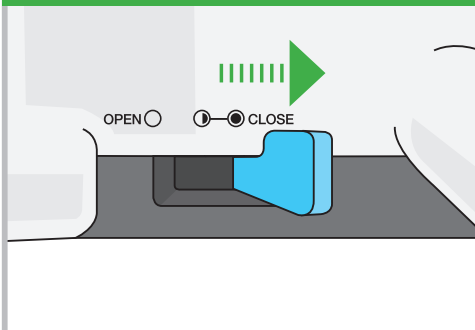
本体の重量は約6.2kgです。本体を移動させる場合は、必ず両手で本体下部を確実につかんで移動してください。ドラムや本体の側面などを片手で持って移動しようとするとう本体が落下し、傷害や故障の原因となります。

レバー案内

レバー使用方法の説明

ドラムの下にあるレバー（搾汁パッキン）を開閉することで、ドラム内部に搾りかすが残ることを防ぎます。また、このレバーによりブレンダージュースを作る際に液体（牛乳等）を入れてからの搾汁作業が可能となりました。

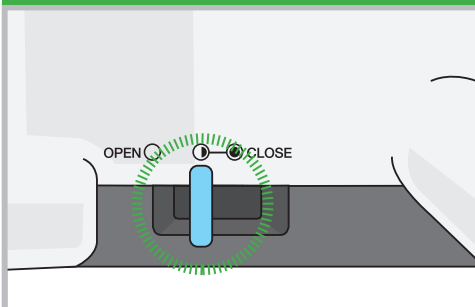
準備・搾汁時



準備段階ではレバーは閉じた状態です。ご使用前に必ずレバーが閉まっているかをご確認ください。レバーを閉じることで、濃くマイルドなジュースが出来ます。また、最初に液体を入れてからの搾汁作業が可能になりました。

ブドウやベリー類、キウイ、ザクロなど種が多い果物は、レバーを開けて搾汁し、ジュースが100～150ml程出来始めたらレバーを半開にしてください。
※レバーを閉めたまま搾汁を続けるとドラム内に種が溜まり、ドラムの破損やドラムキャップが開かなくなる場合があります。

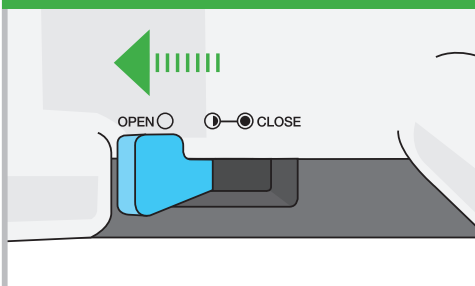
仕上げの段階(半開)



最後の材料を投入するとき、レバーを半開[●]の位置に移動させ、ドラム内に残っている搾りかすを排出しやすい状態にします。
ストレーナーの中の残留物を排出することで、ドラムキャップの開閉がスムーズになります。

「簡易洗浄」時もレバーを半開[●]にし、投入口より水を入れて作動させることにより、付着したかすを排出させます。

洗浄時



搾汁が終わり、ドラムセットを分解して洗浄する際は、先にドラムセットを本体から取り外した後で、レバーを[OPEN ○]の位置に合わせて洗浄してください。

搾りかす排出口に残った残留物を洗浄することができます。



本体の上ドラムを載せている状態ではOPENになりません。

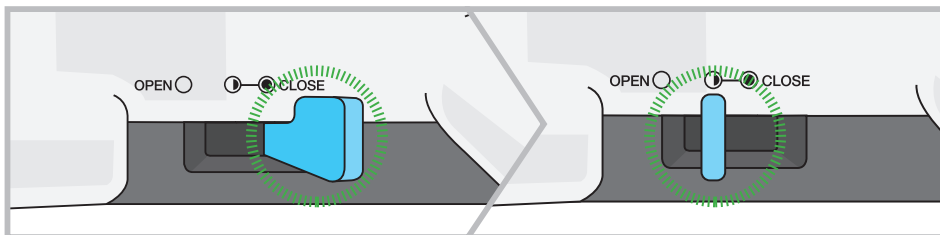


ご使用後にドラムキャップが開かなくなった場合

- レバーを半開[●]の位置にして、ジュースキャップを開けた状態で、逆回転ボタンを約20秒長押しする操作を3回ほど繰り返してください。

食材別レバー使用方法

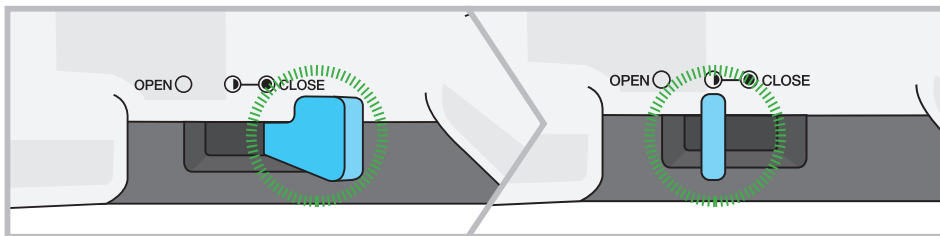
一般的な食材



1. レバーを閉めた状態で搾り始めます。 [●●CLOSE]
2. 最後の食材を投入する前に半開にし動作させます。 [●●]

細かな種のある食材

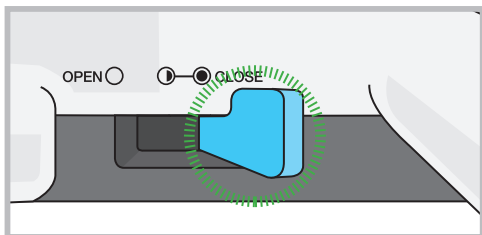
ブドウ、ザクロ、ベリー類、キウイなど。



1. レバーを閉めた状態で搾り始めます。 [●●CLOSE]
2. ジュースが100~150ml程度出来始めたらレバーを半開(●●)にしてください。

牛乳とのミックス

バナナ、イチゴ、ブルーベリーなど



1. レバーを閉めた状態で搾り始めます。 [●●CLOSE]

使用上の注意事項



- 柿、梅、レモン、桃のように種が硬い果実は、必ず種を除去してから使用してください。
- 繊維質が豊富な材料(ニンジン、小松菜、セロリなど)は2~3cm程度に小さくカットしてから、少しずつゆっくり投入してください。
- 搾汁した青汁、ジュースは長期保存せず、なるべく早めにお召し上がりください。
- 穀物粉砕用としてお使いにならないでください。部品の破損、故障の原因となります。
- 一度搾汁した搾りかすは再搾汁しないでください。
- カラ回転させないようご注意ください。
- 30分以上続けて使用しないでください。モーターが過熱し、故障の原因となります。連続して使用する際は、一度完全に停止させて5分以上間隔を置いてからご使用ください。
- 作動中は、絶対にジュース排出口に箸やスプーンなどを入れないでください。傷害や故障の原因となります。
- 製品付属の「押し棒」以外の物や手などで材料を押さないでください。傷害や故障の原因となります。
- 濡れた手でスイッチを操作しないでください。感電、漏電、火災の原因となります。スイッチの周囲に異物が付着しないようご注意ください。
- お酒、蜂蜜、砂糖漬けの果物(ブドウ、キイチゴ、桑の実など)を投入しないでください。ドラムキャップが開きにくくなる原因となります。
- 氷、凍ったままの食材は投入しないでください。
- ドラムキャップがキチンと閉まっていなかったり、開いた状態では、安全装置が働き電源は入りませんのでご注意ください。

参考

冷蔵庫に長期間保存した食材や乾燥した食材または、産地や収穫時期により、搾汁量が少なかったり、搾汁が不可能だったりする場合があります。

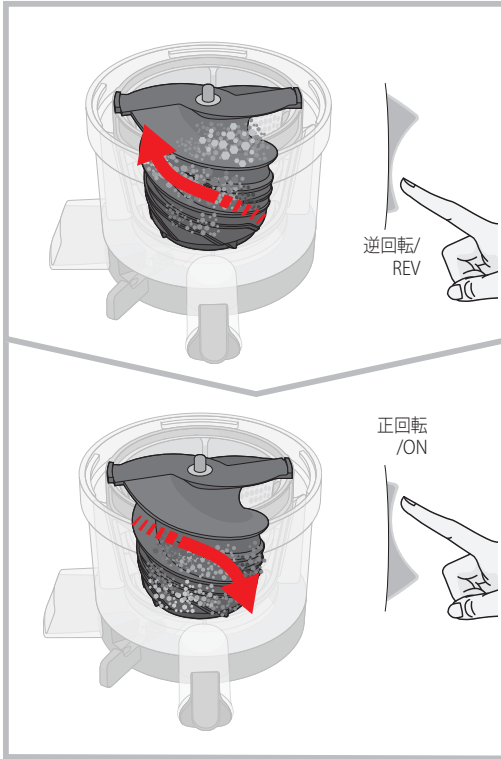
食材別 搾汁方法アドバイス! 食材別・搾汁方法アドバイス!

リンゴ・梨・キウイ・マクワウリ	リンゴ 梨 キウイ マクワウリなどの果物は種と皮を一緒に入れて搾汁します。
ブドウ・ザクロ	ブドウは一粒ごとに搾汁し、ザクロは皮をむいて果肉の粒のみ搾汁します。
スイカ・オレンジ・グレープフルーツ	スイカ オレンジ グレープフルーツなどの果物は外側の皮をむいて果肉を3~4cmくらいに切って搾汁します。
マンゴー・チェリー・柿・梅・桃・レモン	これらの果実には硬い種がありますので、必ず種を取り除いてから皮を一緒に入れ搾汁します。硬い種を入れることは製品の破損または故障の原因となりますのでおやめください。
ニンジン・セロリ・小松菜	繊維質が豊富なニンジンやセロリなどは3cm程度に小さく切って使用してください。

* 上記の内容は食材別のおすすめ搾り方アドバイスです。

* リンゴの種は除くことをお勧めします。

使用中にスクリューが止まったら



1 作動スイッチの[逆回転/REV]ボタンを3～5秒間押し続けて手を離すと操作を2、3回繰り返してください。

▶ 逆回転は食材を上へ引き上げるボタンです。逆回転はボタンを押している間だけ作動し、手を離すとスクリューの回転が止まります。

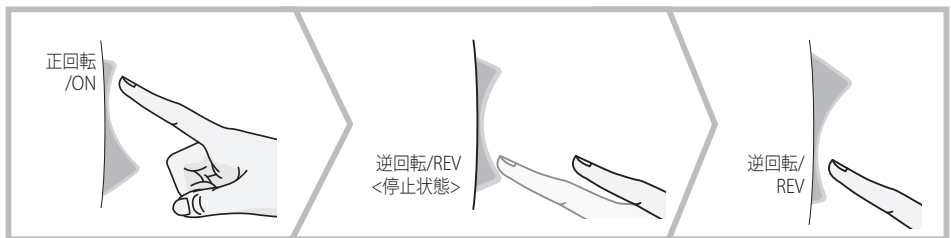
2 逆回転が完全に停止した後、[正回転/ON]ボタンを押して作動させます。

▶ 正回転や逆回転ボタンは必ずスクリューが完全に止まった後に操作してください。

参考

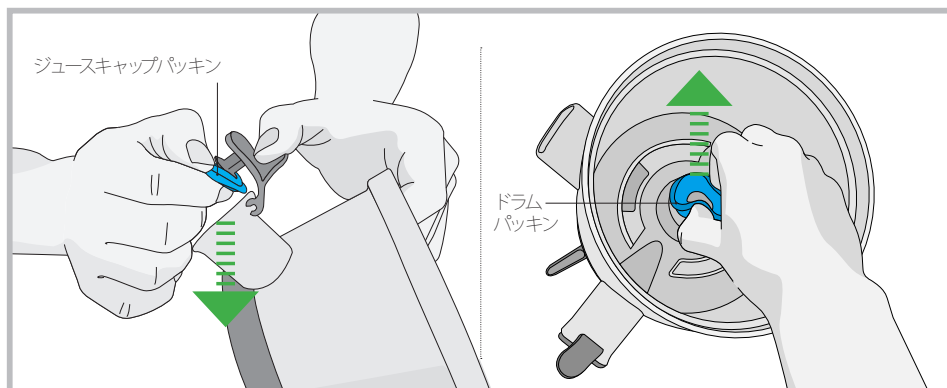
上記の過程でも改善されない場合は、コンセントから電源プラグを抜き、ドラムセットを分解して洗浄した後に再度使用してください。

作動スイッチ説明

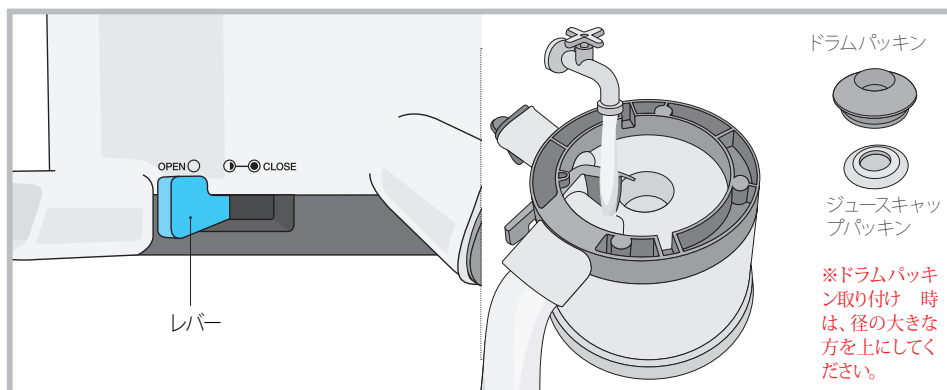


作動中(正回転)から逆回転に切り替える場合、一旦逆回転ボタンを押して回転を停止させた後、逆回転ボタンを長押ししてください。モーターの特性上停止させてもすぐには止まりません。(ゆっくり回転しながら止まります。)ボタンは完全に停止した後に押しってください。(逆回転中から正回転に戻る時も同じです。)

ドラムの分解および洗浄方法



- 1** ジュース排出口のジュースキャップパッキンとドラムパッキンを取り外します。
- ▶ ジュースキャップを開け、片手でドラムとジュースキャップを持ち、もう片方の手でジュースキャップパッキンを引きはがしてください。取り外しの際、ジュースキャップやドラムを落としたり、キャップが破損する恐れがありますのでご注意ください。ドラムパッキンを二本の指で挟み、ひねるようにして取り外してください。



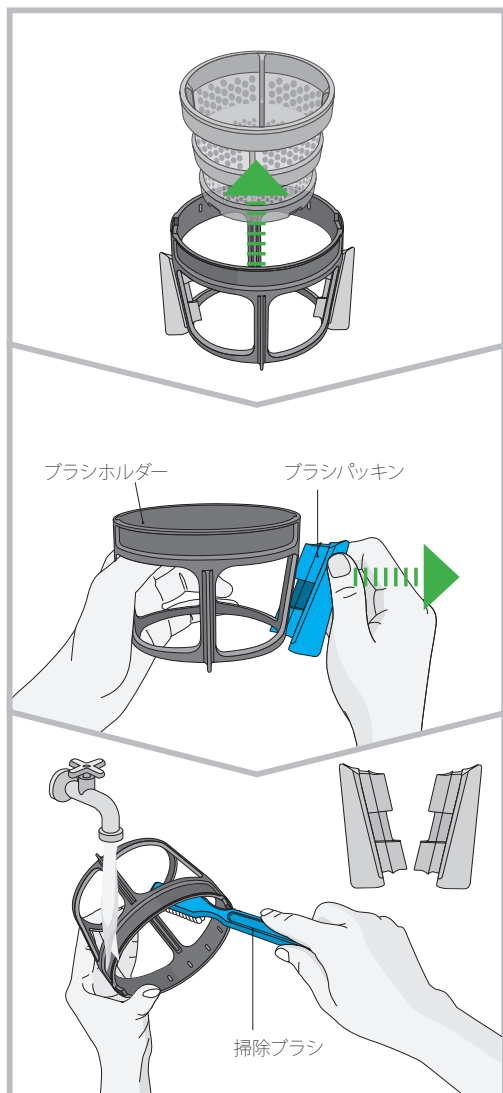
- 2** ドラムの底面の搾汁パッキンはレバーを[OPEN]の位置にして開きます。

- 3** ドラムとパッキンを洗浄します。

- ▶ 搾りかす排出口は水を流しながら、清掃ブラシの柄の部分で搾りかすをかき出すようにお手入れすると効果的に洗浄できます。

[ご注意] ドラムパッキンを紛失しますと、ジュースを搾る際にドラムの底から本体へジュースが漏れますので、なくさないようご注意ください。

回転ブラシの分解および洗浄方法



1 回転ブラシとストレーナーを取り外します。

2 ブラシホルダーとブラシパッキンを取り外します。

- ▶ 図のようにブラシパッキンの外側部分を手で持って矢印方向に引っ張って取り外してください。矢印と違う方向へ引っ張るとブラシパッキンが破れたり、破損したりする恐れがあります。

3 掃除ブラシを利用して、水を流しながら磨くようにブラシホルダーの両面を洗ってください。

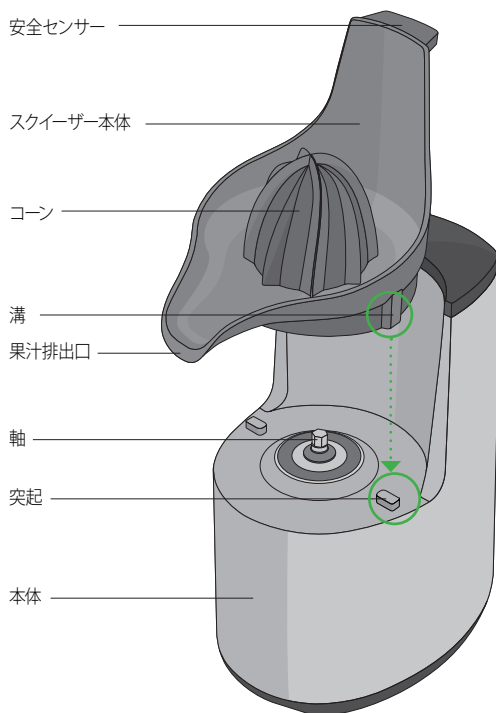
- ▶ ブラシパッキンも同様に、流水で洗浄してください。

参考

ご使用状況に応じて必要な場合には、漂白剤または食器用洗剤を使用して下さい。

スクイザーの組み立てと洗浄

組み立てと部品名称



ジューサー本体にスクイザーを装着します。

スクイザー本体の底部分の溝とジューサー本体の突起に合わせて取り付けます。



洗浄方法

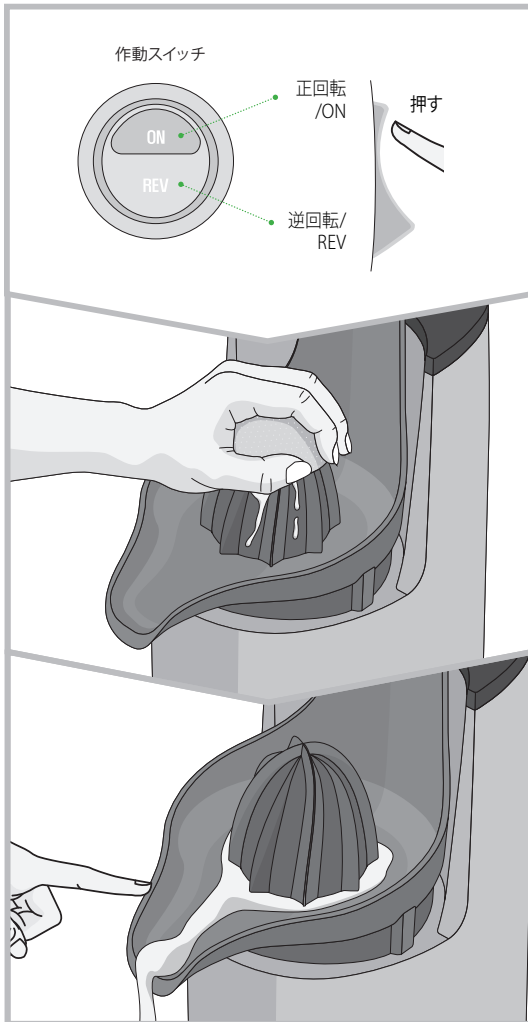
1. 製品を停止させ、電源プラグを抜いてください。
2. コーンとスクイザー本体をジューサーから取り外し、水で流し洗浄してください。
3. ご使用後は、すぐに製品を洗浄することをお勧めします。

(果肉が乾燥すると、洗い落としにくい状態になる場合があります。)

※ 80℃以上の高温での洗浄は避けください。食器洗浄機、乾燥機、電子レンジ等を使用しないでください。

製品の故障、部品変形の原因となる恐れがあります。

スクイザー使用方法



1 [正回転/ ON] ボタンを押して作動させます。

搾汁された果汁を受ける容器（コップなど）をご用意ください。

2 準備した果物を半分にカットし、コーン部分へしっかりと押し当ててください。

3 スクイザー本体へ果汁が溜まったら、容器に移します。

一度にたくさんの量を搾汁した場合、あふれることがありますのでご注意ください。

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、以下の内容をご確認願います。

これらの状態は故障ではありません。修理依頼やお問い合わせの前にもう一度お調べください。

動かない。

- ・電源プラグがきちんと差し込まれているかご確認ください。
- ・ドラムキャップが正しく装着されているかご確認ください。ドラムキャップの装着が正しくないと安全装置により作動しません。
- ・組み立ての手順に沿って正しく組み立てられているか、本書の案内ページ(3ページ)をご参照ください。改善しない場合は当社フリーダイヤル(20ページ)までお問い合わせください。

ドラムキャップが開かない。

- ・ドラム内に搾りかすがたくさん残っていませんか?
→レバーを[●]の位置にして[正回転/ON]ボタンを押して、ドラム内の搾りかすを取り除くか、逆回転/REV]ボタンを約20秒長押しする操作を2、3回ほど繰り返してから、ドラムキャップを開けてみてください。
- ・異物(スプーン、箸など)硬い種などを投入しませんでしたか?
→[逆回転/REV]ボタンを押して異物を投入口の近くまで押し上げてください。
(無理な力を加えて開けようとせずに、上記の手順で改善されない場合は当社フリーダイヤル(20ページ)までご連絡ください。)

作動中に停止した。

- ・ドラムキャップが正常に閉まっているかご確認ください。
- ・食材は小さく切って、少しずつゆっくり投入口に入れていませんか?
→食材の投入量が多いなど、ユーザーに負荷がかかると停止します。
逆回転(13ページ)などで食材の詰まりを解消した上で再度、搾汁してください。

スクリューに削れたような跡、傷のような線がある。

- ・成形の過程でできた成形痕(ゲート)です。使用上問題はございませんのでご安心ください。

本体とドラムの接合部分よりジュースが漏れる。

- ・食材の投入量が多すぎませんか?
→搾りかすの排出量に比べ、食材の投入量が多いと、ドラム内のスクリューが押し上げられ、ジュースが漏れる可能性があります。
食材は少しずつゆっくり投入してください。
- ・ドラムパッキンが正しく装着されているかご確認ください。

搾汁時にドラムが揺れる。

- ・本体のモーターの動きで多少揺れることがあります。
→食材の特性(硬さ・繊維の種類)によって揺れが起きる場合があります。これはスクリューの回転による正常な動作の範囲内で、故障ではありませんのでご安心ください。
水分が多く軟らかい食材に比べ、硬い食材は揺れが大きく見えることもあります。(ニンジン/ジャガイモ/大根など)

ドラムセットが本体に設置できません。

- ドラムのレバーが[OPEN ○]の位置にあるとドラムセットを本体に装着できません。
ドラムセットを本体に取り付ける前に、必ずドラムのレバーを[● CLOSE]の位置にした状態で装着してください。

本体から異臭がする。

- ・連続して30分以上お使いではありませんか?
→モーターの過熱によりモーターに付着した油分が蒸発し、異臭がすることがあります。故障ではありません。
モーターが冷えるまで5分程度製品を停止させた後にご使用ください。

製品仕様

●製品名	ヒューロムスロージューサー
●モデル名	H2H-SBA11
●定格電圧	100 V
●定格周波数	50/60Hz
●定格消費電力	150 W
●一時間当たりの待機時消費電力量	約 1 Wh
●1分当たりの回転数	43/48 rpm
●コードの長さ	1.4m以上
●ヒューズ	125 V 10 A
●製品の重量	6.2 kg
●製品サイズ	幅W 167 mm 奥行D 240 mm 高さH 398 mm
●定格使用時間	30分以下の短時間定格

保証書のご使用法

- この保証書は取扱説明書内の警告 注意等に従って正常なご使用状態で故障した場合のみ、本書記載内容に基づき、お買い上げ後1年間保証対象部分に限り無償にて修理または交換することを約束するものです。
したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の、権利を制限するものではありません。
- 保証期間内に故障し、無償の修理を受ける場合には、サービス窓口にご連絡いただき修理をお申し付けの上、製品に保証書を添えてお送りください。
- 保証期間内でも下記の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の輸送、落下による故障および損傷
 - 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 故障の原因が本製品以外(電源、他の機器等)にあつてそれを点検、修理した場合
 - 一般家庭用以外(例えば、業務用、船舶や海上使用など)に使用された場合の故障および損傷
 - 腐食による故障および損傷
 - 樹脂加工およびメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

※保証期間後の修理 点検等による諸費用は、お客様にご負担願います。またお買い上げの販売店と当社間の運賃など諸費用につきましては、輸送方法によって、一部ご負担いただく場合があります。

● 輸入元、販売元:HUROM株式会社

● 故障・修理についてのご相談に関しては・・・

サービス窓口:

HUROM株式会社 サービス窓口

フリーダイヤル:0120-288-859

受付時間:

10:00~12:00

13:00~18:00(土日祝以外の月~金曜日)

〒104-0043

東京都中央区湊1-8-12 T.Iビル 2F

※モデル名をご確認の上、お電話いただくようお願い申し上げます。

保証書

●製品保証について

1. この製品には保証書がついています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

2. 保証期間はお買い上げ日から本体に関しては1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 保証期間後の修理はサービス窓口にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●修理を依頼される時は

⚠ 警告

・故障の時は、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、サービス窓口にご連絡のうえ送付いただき修理をお申し付けください。

⚠ 注意

・ご自分で修理はしないでください。大変危険です。

●補修用性能部品について

1. 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
2. 本体の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年間です。

アフターサービスについてわからないことは・・・

お買い上げの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

保証書

HUROM スロージューサー

モデル名：H2H-SBA11

持込修理

保証期間	お買い上げ日	年	月	日
	お買い上げの日から本体1年間 (一般家庭用に限り)			
お客様 お名前	〒			
	電話			
	ふりがな			
		様		

本書は、保証規定により無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に万一故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、記載のサービス窓口へ修理をご依頼ください。保証書に所定事項の記入または販売店印がない場合は必ず販売店発行の領収書または、その他購入年月日、店名等を証明するものをあわせてご提示ください。

安全点検のために、写しを取る必要がある場合は、お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売店様へお願い

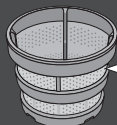
この保証書は、販売店様が所定事項を記入して効力を発揮するものですから、必ずご記入ください。

お買い上げ店
所在地・店名

電話

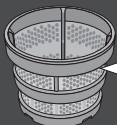
印

ストレーナー VS スムージーストレーナー どっちがいいかな？



ストレーナー

網の目が小さなストレーナーは、野菜や果物、豆などサラサラしたジュースを搾る際に使用します。



スムージーストレーナー

網の目が大きなスムージーストレーナーは、軟らかい果物（イチゴ、メロン、桃など）や粘り気のある食材で、果肉が豊富なジュースを搾る際に使用します。

HUROM™

www.hurom.com

0120-288-859

Made in Korea